


## 平成30年度 学長戦略経費（公募型プロジェクト）研究成果概要報告書

経費の種類	<input checked="" type="checkbox"/> 共同研究推進 <input type="checkbox"/> 若手教員研究支援 <input type="checkbox"/> 個人研究支援 <input type="checkbox"/> 研究推進重点設備 <input type="checkbox"/> 研究推進設備修繕
プロジェクトの名称	特別支援教育における新学習指導要領に対応した魅力ある授業づくりプロジェクト
報告者氏名・所属・職名	白府 士孝・附属特別支援学校・教諭
プロジェクト担当者氏名・所属・職名	加藤 順也・附属特別支援学校高等部・教諭 山田 俊寿・附属特別支援学校中学部・教諭 齊藤 留美・附属特別支援学校中学部・教諭 江崎 拓郎・附属特別支援学校小学部・教諭 中條 由紀子・附属特別支援学校小学部・教諭 平山 一馬・附属札幌小学校ふじのめ学級・教諭 山田 明夏・附属札幌中学校ふじのめ学級・教諭 細谷 一博・函館校・准教授 齊藤 真善・札幌校・准教授
<b>研究内容及び成果の概要</b>	
<p>本プロジェクトは、附属特別支援学校と附属札幌小学校ふじのめ学級の実践研究を通して、特別支援教育における新学習指導要領に対応した魅力ある授業づくりの在り方を検討した。そして、児童・生徒の現実度の高い授業づくりに取り組むために、児童・生徒の生活の場（家庭生活、地域生活、職業生活）に根差した授業を単元を通して構成し、学ぶ必然性のある授業実践を特別支援学校と特別支援学級で積み重ねた。</p> <p>そして、本プロジェクトの成果については、第13回北海道特別支援教育学会函館大会では、ふじのめ学級との自主シンポジウムを開催し、特別支援学校と特別支援学級の視点から本研究の成果を発表した。(図1)また、第56回日本特殊教育学会においても実践発表を行い、全国の教員や研究者など、多くの方々との質疑・応答を交えながら本プロジェクトの成果を発表することができた。</p> <p>また、12月の本校の公開研究協議会では、全国各地から200名以上の参加があり、本プロジェクトの成果を発信することができた。こうした状況から、今後はさらに全国の教員のニーズに応えられるように、特別支援教育における「主体的・対話的で深い学び」の視点を取り入れた授業開発に今後も尽力していきたい。また、本プロジェクトを通して、附属特別支援学校として第3期中期計画2(1)15の特別支援教育分野における「研究水準及び研究の成果等に関する目標を達成するための措置」についての具現化を図ることができたと考える。</p>	
	
図1 魅力ある現実度の高い授業の構造	
<b>成果の公表の状況</b>	
<p>【著書】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・北海道教育大学附属特別支援学校，平成30年度研究紀要第31号，2019.</li> </ul> <p>【学術論文】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・白府士孝・北村博幸・細谷一博・小淵隆司，生活を豊かにしていく力を育む授業づくり(2)～知的障がい教育における主体的・対話的で深い学びの観点別学習状況の評価と支援の最適化～，日本特殊教育学会第56回大会論文集，2018.</li> </ul>	
<b>教育現場で活用可能な分野・教材等</b>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・支援スケールVer. 2.2</li> </ul>	
配布又はダウンロード可能な資料	・北海道教育大学附属特別支援学校 平成30年度研究紀要第31号，2019.
問合わせ先	代表者：白府士孝

電 話 : 0138-46-2515

F A X : 0138-47-8729

mail : shirafu-noritaka@h.hokkyodai.ac.jp